

中医協「2012 年度第 6 回 診療報酬調査専門組織・DPC 評価分科会」 2012/12/7
DPC 導入の影響評価に関する 2011 年度調査結果報告書を承認

診療報酬調査専門組織・DPC 評価分科会（分科会長：小山信彌・東邦大学医療センター大森病院心臓血管外科部長、東邦大学医学部外科学講座心臓血管外科教授）は 12 月 7 日、DPC 導入の影響評価に関する 2011 年度調査結果の分析・評価について（退院患者調査・特別調査）の報告書を取りまとめた。

事務局は、①医療の質、②患者の選別、③効率化の進展——の 3 点に着目し、関連項目における DPC 病院と準備病院の比較や年次推移、DPC 制度参加前後の変化を統計的に検証。今回、それらの検証結果を以下のように報告した。

①では、「DPC 病院の方が『治療』・『軽快』の患者割合が高かった」ことや「予期しない原疾患の悪化・再発など、十分な治療が行われず退院した可能性のある再入院の割合である『再入院率』は、DPC 病院と準備病院で大きな差がなかった」ことが挙げられ、「今回用いた指標からは、DPC 病院が準備病院と比べて医療の質が低下しているとはいえず、医療の質は維持されている」と総括した。

②では、「救急車による 1 施設当たりの搬送患者の割合は DPC 病院と準備病院で大きな違いはなかった」ことや「緊急性の高い『救急医療入院』の 1 施設当たり患者割合を今後、継続的に見る必要がある」ことが挙げられ、「今回用いた指標からは、DPC 病院と準備病院で救急患者等を避ける傾向は見られなかったが、今後の動向を注視する必要がある」と総括した。

③では、「DPC 病院の方が平均在院日数は短く、後発医薬品の使用割合が高かった。これらの効果は DPC 制度への参加後に見られたことから、DPC 制度による影響が考えられる」点が挙げられ、「今回用いた指標からは、DPC 病院の方が医療の効率化は進んでいると読み取れる」と総括した。

以上より、「医療の質低下や患者の選別が行われていることを示すデータは見られなかった一方、効率化に関しては進展を示すデータが得られた」とした。

これらの報告内容に対して、三上裕司委員（日本医師会常任理事、特定医療法人三上会総合病院東香里病院理事長）は、「効率化が進んでいると結論付けるのは言いすぎではないか」と発言。それに対し事務局は、「医療全体の視点では言いきれないが、平均在院日数と後発医薬品においてはデータから効率化が進んでいるといえる」と回答。他の委員も事務局の回答に納得した。

その他は、委員から大きな反対もなく、報告書は了承された。今後は、文言の微調整を行った上で、次回の中医協総会に諮る。

■DPC 作業班によるコーディングマニュアル作成状況を確認

会合では、DPC 作業班による DPC/PDPS コーディングに関するマニュアル作成の進捗状況を確認した。DPC/PDPS コーディングに関しては、「事例によって不適切なコーディングが見られる」「コーディングの質が医療機関ごとに差がある」といった問題点が指摘されており、それらを是正するべく現在 DPC 研究班でマニュアルの作成が行われている。

今回、松田晋哉委員（産業医科大学医学部公衆衛生学教授）より現在作成中の「DPC/PDPS 傷病名コーディングガイド」が報告された。内容に関して委員から異論は出なかったが、藤森研司委員（北海道大学病院地域医療指導医支援センター長）から「DPC/PDPS 傷病名コーディングガイドに厚労省の通知等を加えた、DPC/PDPS コーディングマニュアルを作成してほしい」との要望が出された。

今後は、これらの要望を踏まえ、マニュアルの早期作成に取り組む予定。

■患者に分かりやすい病院指標の作成へ

また、会合では、機能評価係数Ⅱの追加項目として検討が進められている「病院指標の作成と公開」について、藤森委員より素案が提出され、それに基づき議論が行われた。

事務局は、病院指標の作成・公開の目的として、①市民への情報公開、②様式 1（診療録情報）の精度向上、③病院の分析力と説明力の向上——と説明。

素案では、患者目線に立った情報公開を行うに当たり、年齢階級別退院患者数や診療科別症例数トップ3などを具体的な病院指標とすることが提案された。

これらに対し、委員の中でただ一人、三上委員が「病院指標を機能評価係数Ⅱに取り入れるのは無理がある」と指摘した。また、竹井和浩委員（保健医療福祉情報システム工業会医事コンピュータ部会 DPC 委員長）や渡辺明良委員（聖路加看護大学事務局長）からは、「専門用語の解説を入れるなど、より患者が理解しやすい指標を作成すべき」との要望が出された。

今後は、今回出された要望を踏まえ素案を整理した上で、さらなる議論を行っていく。

次回の会合の日程は、未定。